

平成29年11月20日

各位

上場会社名 ロイヤルホールディングス株式会社
代表者 代表取締役社長 黒須 康宏
 (コード番号 8179)
問合わせ先責任者 財務企画部IR担当部長 眞柳 眞悟
 (T E L 03-5707-8873)

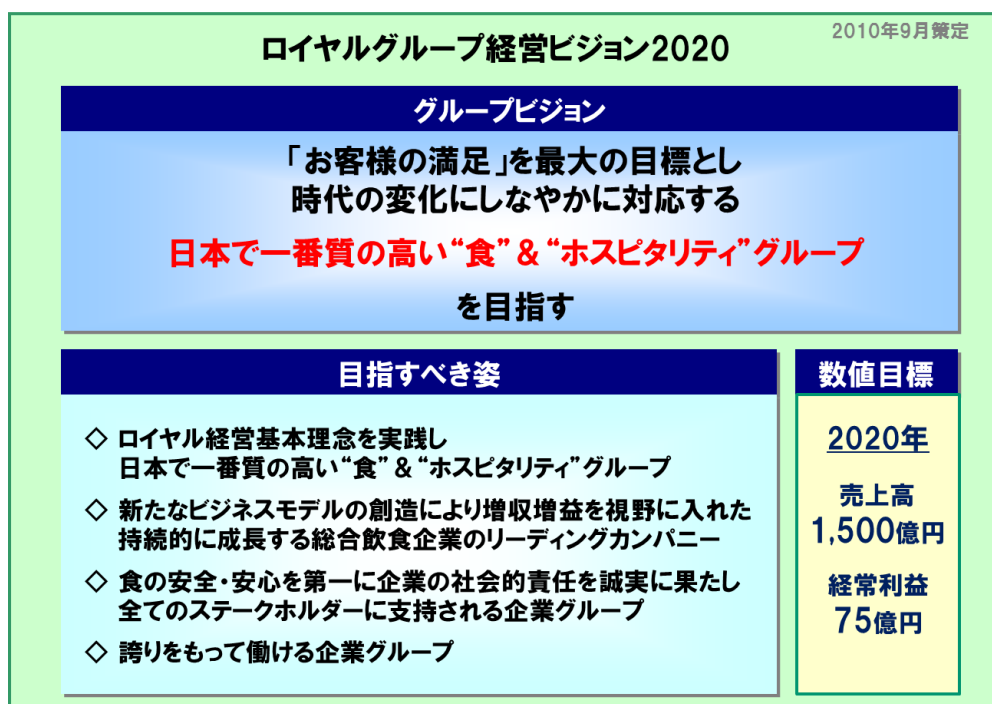
中期経営計画『Beyond 2020』策定に関するお知らせ

当社は、このたび、「ロイヤルグループ経営ビジョン 2020」の実現に向けて2020年度を最終年度とする中期経営計画「Beyond 2020」を策定いたしましたので、下記の通りお知らせいたします。

記

1. 中期経営計画『Beyond 2020』策定について

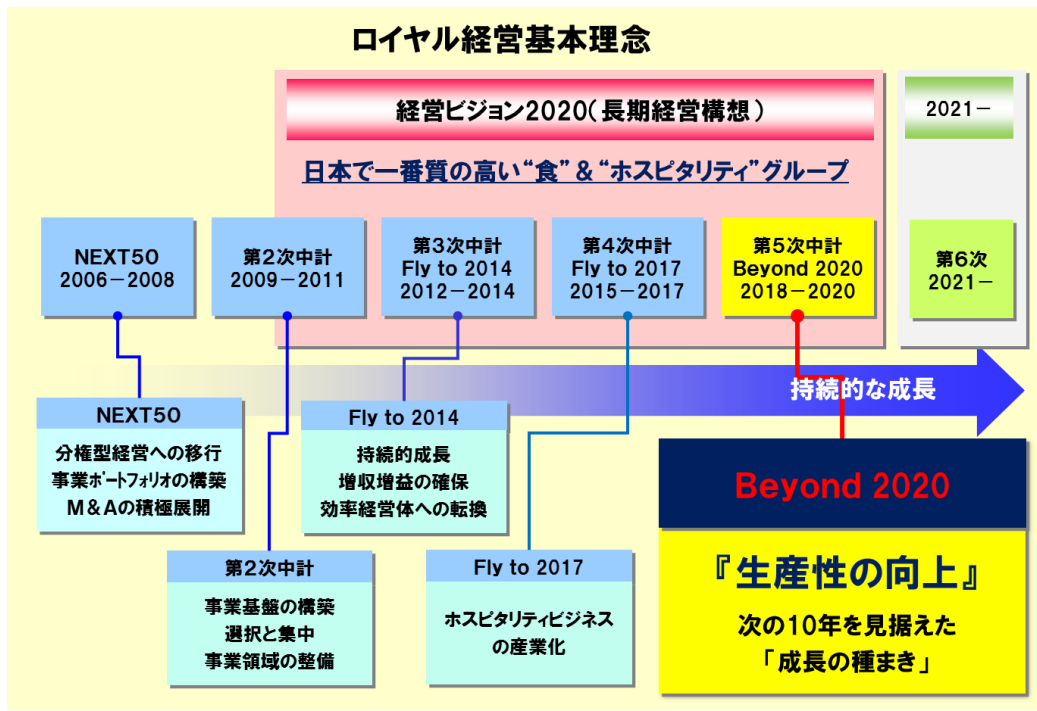
ロイヤルグループは1951年の創業以来、経営基本理念を実践することにより「食」を通じて国民生活の向上に寄与する」ことを目指して事業を執行してまいりました。この中期経営計画は2020年度を最終年度とした「経営ビジョン2020」の最後の3ヵ年の中期経営計画であり、時代が大きく変化する中において、次の10年を見据えた成長に向けて対応するものです。如何なる時代においても経営基本理念を礎として、社会から求められる存在意義を確認しつつ、その企業価値向上に向けて、全社一丸となって取り組んでまいります。



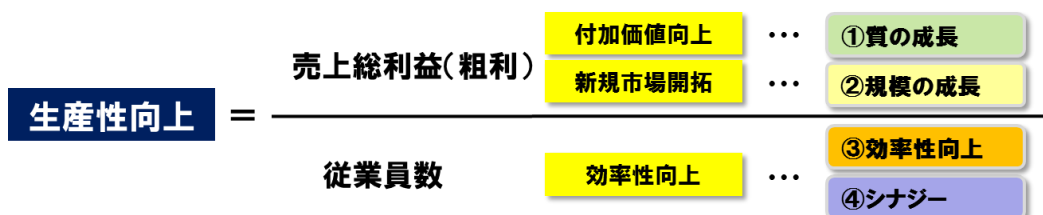
＜中期経営計画「Beyond 2020」の位置づけ＞

「経営ビジョン2020」の達成に向けた『生産性の向上』と『次の10年を見据えた「成長の種まき」』

- 2020年度を最終年度とした「経営ビジョン2020」に掲げる、「日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ”グループ」と「2020年度 売上高1,500億円・経常利益75億円」の達成を目指す。



- 「質の成長」、「規模の成長」、「効率性向上」、「シナジー」を推進することで、『生産性の向上』を図り更なる成長に繋げる。



- 2020年以降も継続・進行すると考えられる少子高齢化や労働力不足、原材料の高騰等といった環境変化に対応するため、2020年以降の次の10年を見据えた研究開発や市場開拓、働き方改革、他社との協調など、持続的成長に向けた積極的な取組み（成長の種まき）を行う。

＜更なる成長のための6つのテーマ＞



＊2020年以降を見据えた成長・生産性向上の投資を積極的に行う

**2020年以降も
環境変化が大きく進行・継続**

- 人口減少(少子高齢化)
- 労働力不足(時給の上昇)
- 女性の社会進出(女性活躍)
- 単身・高齢者世帯の増加
- 原材料高騰
- 物流費高騰
- 食の安全安心の高まり
- 世界人口の増加
(アジア・ムスリム等)

次の10年を見据えた種まきが必要

- 研究開発
- 市場開拓
- 働き方改革
- 他社との協調



2018年～2020年



2020年以降

2. 連結数値目標

	2020年度
売上高	1,500億円
経常利益	75億円
経常利益率	5.0%
ROA	7.0%
ROE	8.0%

※ROA = 経常利益 ÷ 総資産（平均）、ROE = 当期純利益 ÷ 自己資本（平均）

3. 財務体質と株主還元について

- ・ 2020年まで12期連続経常増益
- ・ 営業キャッシュ・フローは、成長投資と株主還元バランスよく配分
- ・ 設備投資は成長と生産性向上のバランスを取った投資とする
- ・ 配当性向およびその他の株主還元を更に充実

4. 事業毎のミッション



2018年2月に予定しております2017年度12月期の決算説明会時に、詳細な説明を予定しております。

以上

本資料の将来に関する記載は、本資料の発表日現在における入手可能な情報に基づき当社が判断した予測であり、今後様々な要因によって大きく異なる結果となる可能性があります。